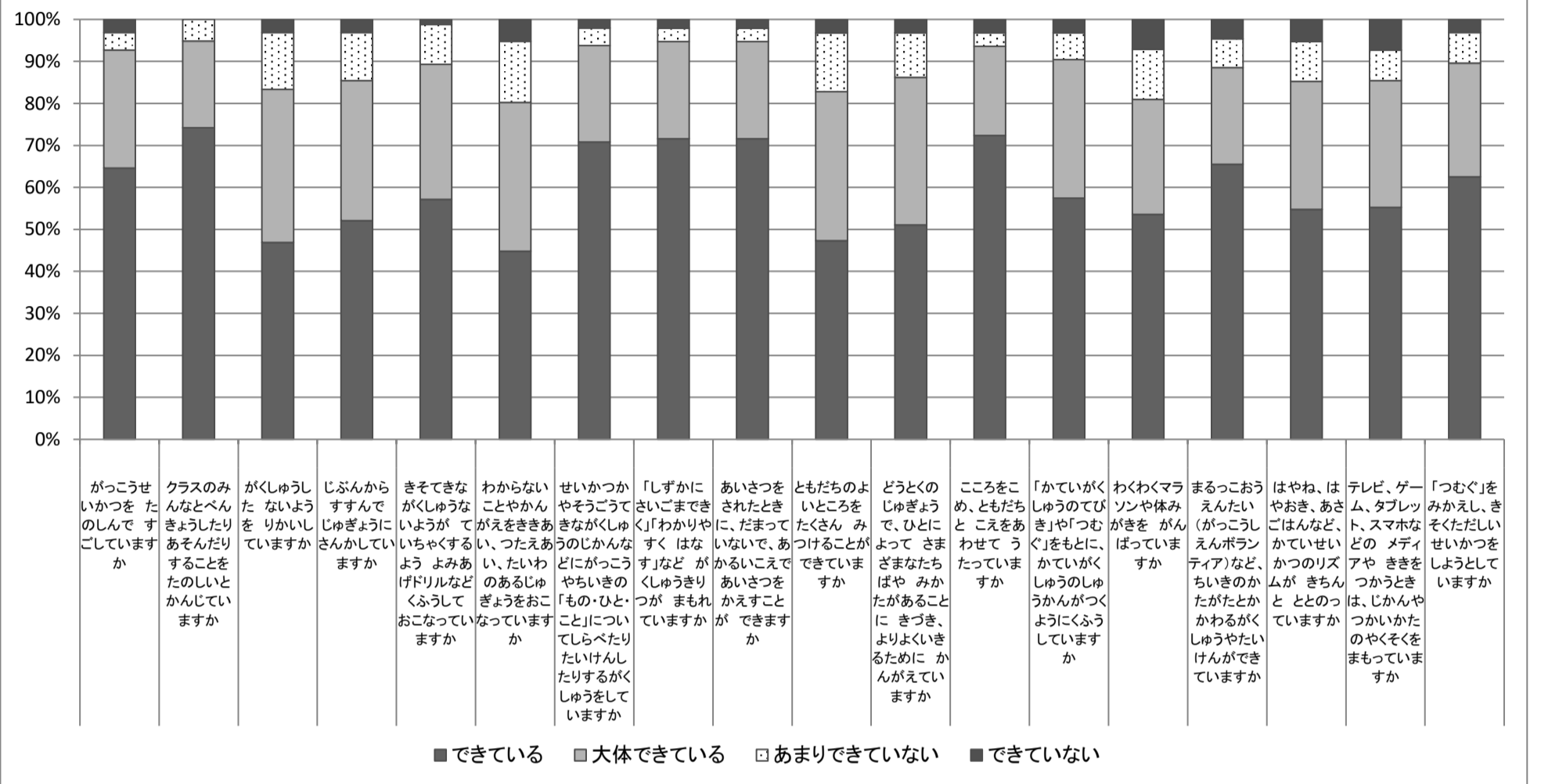


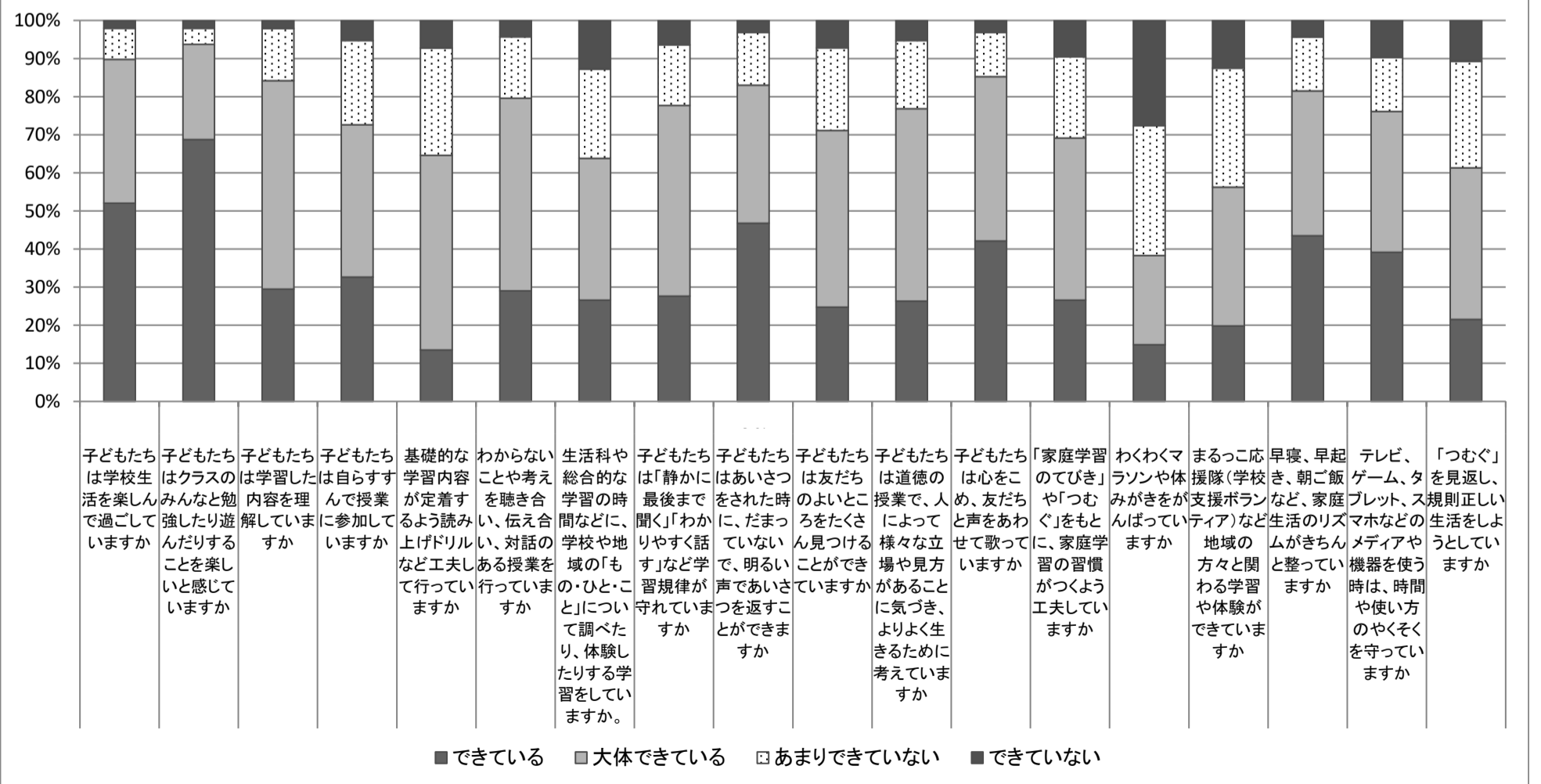
令和2年度 丸子中央小学校 学校自己評価 中間報告

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の学校教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
 さて、1学期末に児童と教職員に行いました学校評価アンケートの結果をお伝えいたします。
 年度当初、新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度の指導計画にしたがって十分取り組むことができなかったため、いくつかの点で厳しい評価となりました。特に「わくわくマラソン」や「体みがき体操」などは、朝の丁寧な健康チェック等の時間の確保のため、できないことが多かったです。ですが、新型コロナウイルス感染症への対策について子どもたちなりに習慣化されてきている面もあるため、今後実施できるかを検討していきます。
 また、地域の方との交流も、当初はかなり限定された物でしたが、徐々に行えるようになってきました。
 学習面では、対話のある授業の評価が低くなりました。友との距離を保つ等で通常のような授業ができなかったことが要因と考えられます。数か月経ち、様々な工夫が考えられてきていますので、後半、子ども達にとってより楽しく、分かりやすい授業を目指してまいります。
 今後も、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

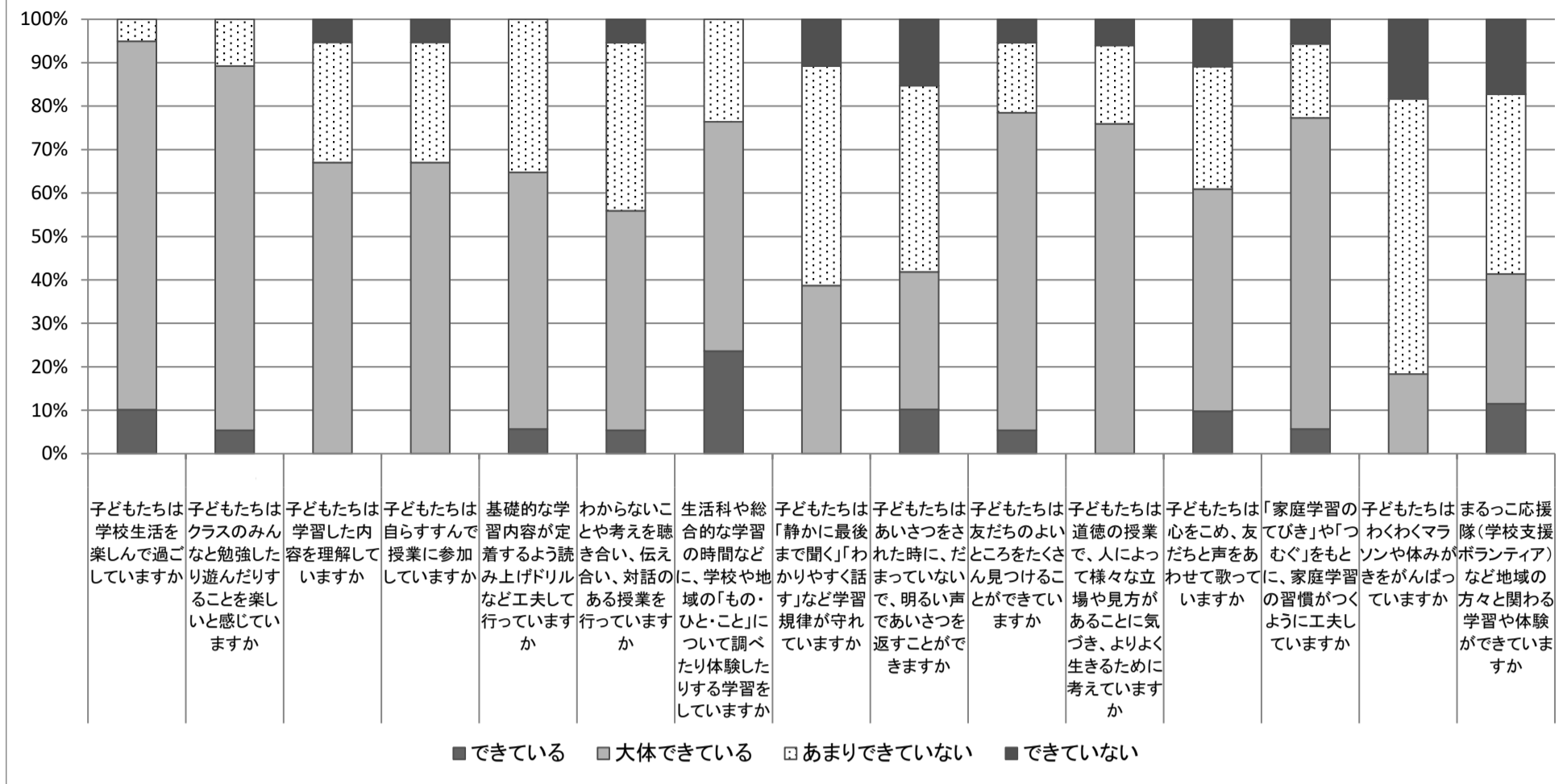
低学年学校生活アンケート 2020年7月実施



高学年学校生活アンケート 2020年7月実施



職員アンケート 2020年 7月実施



<職員アンケート考察>

- ・コロナウイルス感染症対策の関係で、大きな声で歌う、対話のある授業を行う等への取り組みが十分できなかった。また、朝、早く登校して行うマラソンや、地域の方との交流も多くのが中止とせざるを得なかった。2学期に入り、これらの取り組みが以前より可能な部分ができてきているので、感染症対策をしながら、よりよい学習や交流のあり方を考えていきたい。
- ・あいさつは、児童と職員で結果に大きな差が見られた。クラスの友達や担任等、自分とかかわりのある親しい人とのあいさつをイメージした児童と、学級・学年を越えた友だちや担任以外の職員・地域の方とのあいさつをイメージした職員の「あいさつをする相手」の違いが要素として考えられる。学校のリズムが安定するに従い、徐々に良くなってきているので、今後、児童の発達段階を踏まえた支援をして、様々な人とあいさつができるようにしていきたい。
- ・全国的な臨時休業中、家庭学習の充実が話題となった。本校でも、授業と家庭学習とのつながりを大事に取り組んでいるが、職員は「十分できている」という手応えを感じるまでには至らず、工夫の余地があると感じていた。家庭学習のさらなる充実に取り組みたい。
- ・「最後まで静かに聞く」「わかりやすく話す」ということは授業の基本である。職員側の問題として真摯に向き合いたい。臨時休業で学級開きがスムーズにできなかったが、2学期に入り、児童も学校生活のリズムができてきている。今後、特に力を入れて取り組んでいきたい。